**街頭宣伝例**　　　　２０１８年８月８日　　　　　　　　　　　　鳥取県委員会

ご町内のみなさん、こちらは日本共産党です。この場所をお借りして、訴えをさせていただきます。ご協力よろしくお願いします。

連日の猛暑で、全国で熱中症による救急搬送が増え、亡くなられた方も出ています。「命の危険がある、災害と認識している」と気象庁が表明しました。日本共産党は、学校・体育館のエアコン設置、高齢者の電気料金の負担軽減、低所得者や高齢者世帯のエアコン設置の支援など、県や市町村、中国電力に申し入れをおこないました。猛暑は今後も続くと予想されています。「大災害」として位置づけて、「防災」とむすびつける対策が必要です。日本共産党は、ひきつづき猛暑対策に全力で奮闘してまいります。

さて、西日本豪雨災害から一カ月以上が経過しました。被災地では、生活の再建、地域の復興に、懸命な努力がおこなわれています。日本共産党は６野党・会派で、政府も国会も一丸となって、豪雨災害に最優先で取り組むべきだと安倍首相に申し入れ、国会でも同様の提案を繰り返し行ってきました。こうしたなかで、半壊住宅の解体費用や宅地内の泥だし費用の支援など新たな成果が生まれています。豪雨災害は、どこで起きてもおかしくありません。被災者生活再建支援金の上限を現行３００万円から５００万円にひきあげる被災者生活再建支援法改正案など被災者の切実な声にこたえることこそ、いま、政治が果たすべき責任ではないでしょうか。日本共産党は、そのことを求めて、ひきつづき、全力をつくす決意です。

みなさん、どの世論調査でも、安倍内閣の「不支持」が「支持」をうわまわっています。「評価しない」理由の一つに豪雨対策がありました。豪雨災害の対応がもとめられるそのとき、政府・与党はなにをしていたでしょうか。刑法が禁じる賭ばくを合法化するカジノ法案の強行に血道（ちみち）をあげていました。これには「人の命より賭ばく優先か」の批判の声があがりました。また、選挙制度の強行です。「特定枠」をつくり、自民党候補を救済するという内容で、「とても国民の理解は得られない」など、合区の県からも批判の声があがりました。

みなさん、安倍内閣を「支持しない」が多数なら、それに代わる政治をごいっしょに実現しようではありませんか。日本共産党は、野党バラバラでは勝てないが、「市民と野党」が力をあわせれば安倍政権をたおし、新しい政治に道がひらけると、「市民と野党の共闘」に全力をあげています。

日本共産党は、「ウソのない政治をつくる」「１％の富裕層と大企業のための政治から、９９％のための政治にかえる」「『戦争する国づくり』をやめ、９条にもとづく平和外交で世界に貢献する日本」の「3つのチェンジ」をかかげ、活動しています。この日本共産党を強く大きくしていただくことが、「市民と野党の共闘」を実現するたしかな力です。日本共産党への大きなご支援、どうぞよろしくお願いします。

さいごに、演説会のご案内をいたします。９月１５日、土曜日、午後２時より、鳥取市民会館大ホールで日本共産党演説会を開催します。弁士は田村智子副委員長です。ぜひ、一度、日本共産党演説会にお運びくださいますようご案内して、この場所での訴えを終わらせていただきます。ありがとうございました。